

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
 【単独・連携事業】

市町名	壬生町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	壬生町農産物ブランド 『みぶの妖精』推進事業	総事業費	1,252,486	2,567,583	960,000	600,000	600,000	5,980,069
		うち市町支出額	500,000	1,700,000	660,000	300,000	300,000	3,460,000
		うち県交付金	250,000	850,000	330,000	0	0	1,430,000
2	健康長寿のまちづくり 推進事業	総事業費	300,079	300,001	300,000	300,000	300,000	1,500,080
		うち市町支出額	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	1,500,000
		うち県交付金	150,000	150,000	150,000	0	0	450,000
3	花のまちづくり推進事業	総事業費	570,196	1,087,479	1,080,000	1,080,000	1,080,000	4,897,675
		うち市町支出額	570,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000	4,890,000
		うち県交付金	285,000	540,000	540,000	0	0	1,365,000
4	壬生町産業交流活性化 事業	総事業費	652,000	634,000	700,000	700,000	700,000	3,386,000
		うち市町支出額	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	2,000,000
		うち県交付金	200,000	200,000	200,000	0	0	600,000
5	健康ふくしまつり開催事業	総事業費		1,790,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	7,190,000
		うち市町支出額		1,520,000	1,530,000	1,530,000	1,530,000	6,110,000
		うち県交付金		760,000	765,000	765,000	0	2,290,000
6	壬生町デスティネーション キャンペーン推進事業	総事業費		2,000,003	2,000,000	1,000,000	500,000	5,500,003
		うち市町支出額		2,000,000	2,000,000	1,000,000	500,000	5,500,000
		うち県交付金		1,000,000	1,000,000	500,000	0	2,500,000
7	壬生まちなか創生プロ ジェクト	総事業費		1,000,003	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,000,003
		うち市町支出額		1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,000,000
		うち県交付金		500,000	500,000	500,000	0	1,500,000
8	「みぶブランド」インスパ イア ～新たな商品価値～	総事業費		500,004	500,000	500,000	500,000	2,000,004
		うち市町支出額		500,000	500,000	500,000	500,000	2,000,000
		うち県交付金		250,000	250,000	250,000	0	750,000
9	「郷土の偉人顕彰作 業」	総事業費		2,793,940	2,800,000	2,800,000	2,800,000	11,193,940
		うち市町支出額		2,793,940	2,800,000	2,800,000	2,800,000	11,193,940
		うち県交付金		1,126,970	1,130,000	740,000	0	2,996,970
10	壬生町スポーツライミ ング普及促進事業	総事業費		548,988	2,400,000	2,400,000	2,400,000	7,748,988
		うち市町支出額		548,988	2,400,000	2,400,000	2,400,000	7,748,988
		うち県交付金		274,494	1,200,000	1,200,000		2,674,494
市町計	総事業費	2,774,761	13,222,001	13,540,000	12,180,000	11,680,000	53,396,762	
	うち市町支出額	1,770,000	11,842,928	12,670,000	11,310,000	10,810,000	48,402,928	
	うち県交付金	885,000	5,651,464	6,065,000	3,955,000	0	16,556,464	

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	壬生町
事 業 名	壬生町農産物ブランド『みぶの妖精』推進事業
事業主体の名称	壬生町農産物マーケティング推進協議会
代表者の名称	壬生町農産物マーケティング推進協議会会長 佐藤 久一
事業主体の所在	壬生町大字福和田1001番地9
事業主体の概要	・団体の目的:消費者ニーズの多様化や市場の販売形態等の変革に的確に対応し、農産物生産組織の連携強化を図り、みぶの妖精ブランド農産物の消費拡大と販売戦略の方法等を模索し実践する。 ・設立年月日:平成18年4月21日 ・構成員等:JAしもつけ壬生地区営農経済センター、生産組織の代表者、町
当該事業に係る地域の現状と課題	既存の「みぶの妖精」ブランド農産物(苺・トマト・ニラ)については、認知度も徐々に高まり、市場等での地位も確立しつつあるが、まだ向上する余地がある。また、平成25年度から町の新しい特産物としてPRを始めた「壬生菜」についても、各種イベントでのPRや和食の料理店で使ってもらえるよう働きかけてきたが、まだ浸透が十分ではない。PR方法や対象者などが限定されてしまっていることなども考えられるため、今後は、これまでの手法等を見直しながら、町外ひいては県外への販促の拡大も見据え、効果の高いPRを検討・実施していく必要がある。
事業目的	○苺・トマト・ニラ、そしてみぶ菜といった「みぶの妖精」ブランド農産物を積極的にPRし、認知度を高める。 ○「みぶの妖精」ブランド農産物を町の特産品と位置づけ、新たな壬生町の魅力を掘り起し、さらなる地域づくり及び経済の活性化につなげることを目的とする。 ○地元農産物のさらなる品質の向上を目指す。
事業概要	【平成29年度】 ①情報発信 ・既存のブランド農産物や壬生菜の知名度を向上させるため、「産業まつり」や「みぶの日」等の町内のイベントで、来場者への壬生菜料理の試食や無料配布等を行い、町内への「みぶの妖精」ブランドの浸透定着を図った。 ・県庁で実施する「食と農ふれあいフェア」等、町外のイベントにおいて、「みぶの妖精」ブランドや「みぶ菜の日(3月27日)」のPR活動を行い、町外への販路の拡大を図った。 ・老朽化したミーナの着ぐるみを新たに製作し、各種イベントでPR活動を行った。 ・「みぶの妖精」の商標登録を更新し、全国に「みぶの妖精」を発信した。 ②販売促進 ・「壬生菜」の市場出荷を試行した。(出荷用ダンボール作成) ・昨年度に試行した「壬生菜」の市場出荷を引き続き実施するとともに、安定供給を図った。 ・壬生菜料理のレシピ集を配布し、壬生菜を使用したメニューを知ってもらい、販売促進を図った。 ③情報交換(研究・開発) ・「壬生菜」のさらなる生産振興のため、毎月、生産者、JA及び下都賀農業振興事務所と栽培に関する課題や要望等についての情報交換会を行った。 ④PR活動 ・苺出荷組合、トマト部会及びニラ部会のそれぞれのメンバーが、町内外における販路拡大、さらなる農産物の品質向上を図るため、現地での消費者ニーズを把握したり、生産・栽培に係る様々な情報を得ることを目的に、(株)宮果、及び各種スーパー等での販売促進を見据えた視察研修(PR活動)を行った。 【平成30年度】 前年度の反省点等を踏まえ、継続して実施
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:壬生町における安定した雇用を創出する 戦略プロジェクト:農商工業連携による町の活性化 KPI:地域ブランド品目認定数 10件 ⇒ 20件 【H29実績:0件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
			①みぶの妖精情報発信 ②販売促進 ③情報交換 ④PR活動 ⑤着ぐるみの製作 ⑥PRグッズの作成	①みぶの妖精情報発信 ②販売促進 ③情報交換 ④PR活動 ⑤PRグッズの作成	
事業費	1,252,486	2,567,583	960,000	4,780,069	600,000
市町支出金(ソフト事業分)	500,000	1,700,000	660,000	2,860,000	300,000
うち県交付金	250,000	850,000	330,000	1,430,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	752,486	867,583	300,000	1,920,069	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農政課農業振興係
担当者名	人見 恭司
電話	0282-81-1839
連絡先 FAX	0282-82-1107
E-mail	nousei@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	健康長寿のまちづくり推進事業
事業主体の名称	健康長寿のまちづくり推進協議会
代表者の名称	民生部長 倉井 利一
事業主体の所在	〒321-0292 下都賀郡壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:行政と地区組織が協働して、壬生町の健康長寿の延伸を目指します ・設立年月日:平成27年4月 ・構成員等:○みぶまち・獨協健康大学修了生の会 ○壬生町保健委員会 ○食生活改善推進員 ○行政(健康増進係・地域包括支援センター)
当該事業に係る地域の現状と課題	当町の健康寿命は全国的にも低く、介護保険事業費や医療費の増大が危惧されていることから、昨年度、当事業において、食生活に関するアンケートをはじめ、町民の塩分摂取に関する調査を実施し、1,000人以上の町民から回答があり、壬生町の健康課題が明らかになった。これらを踏まえ、引き続き、町民自らが自身の健康について考え、実践することのできる環境づくりを進めていく必要がある。
事業目的	町民一人ひとりが自分の生活習慣を見直し、病気の予防について実践し、健康で自立した生活を送れるようになることで町の活力維持を図るとともに、将来的に「健康長寿のまち」として、町の魅力向上並びに健康寿命の延伸につなげることを目的とする。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>【健康リーダー育成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康大学の修了生を対象に、地域での活動内容等のシンポジウム開催。(健康大学開校式で実施) ②健康大学の修了生が町民を対象に健康づくりや介護予防に関する講演会3回(12/8・12/18・3/19)を実施。 ③地区組織・ボランティア団体と協働した健康づくり <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に実施した調査研究の結果により、壬生町民の塩分摂取の傾向と課題が明らかになった。その課題に基づいて食生活改善推進員が健康ふくしまつり、みそスープ飲み比べと減塩啓発を実施。 ・ウォーキング大会の開催(3/4開催) <p>【獨協医科大学との共同研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④特定健診受診者の尿中塩分濃度測定を実施。受診者に対して、結果通知にあわせ、減塩の啓発を実施。 ・健康診断のデータ等のマッチングにより町の課題を抽出。中間報告会議を1/16に実施。 <p>【平成30年度】</p> <p>【看護学部との共同研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みぶまち・獨協健康大学の第2期として、新たな研究会を開催。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:壬生町で安心して元気に暮らす</p> <p>戦略プロジェクト:健康長寿のまちづくり</p> <p>KPI:特定健康診査受診率 H27年25.6% ⇒H31年35.0% 【H28実績:24.8%】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①健康大学の修了生が町民を対象に健康づくり、介護予防に関する講演会を企画、実施した ②地域におけるラジオ体操の推進・イベントにおける啓発した ③地区組織・ボランティア団体と協働した健康づくり ④健康寿命延伸についての会議の開催した	①健康大学の修了生が町民を対象に健康づくり、介護予防に関する講演会を企画、実施する ②地域におけるラジオ体操の推進・イベントにおける啓発 ③地区組織・ボランティア団体と協働した健康づくり ④健康寿命延伸についての会議の開催	①健康大学の修了生が町民を対象に健康づくり、介護予防に関する講演会を企画、実施する ②地域におけるラジオ体操の推進・イベントにおける啓発 ③地区組織・ボランティア団体と協働した健康づくり ④健康寿命延伸についての会議の開催		①健康大学の修了生が町民を対象に健康づくり、介護予防に関する講演会を企画、実施する ②地域におけるラジオ体操の推進・イベントにおける啓発 ③地区組織・ボランティア団体と協働した健康づくり ④健康寿命延伸についての会議の開催
事業費	300,079	300,001	300,000	900,080	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	79	1	0	80	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康福祉課
担当者名	熊倉 律子
電話	0282-81-1885
FAX	0282-81-1121
E-mail	kenko@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	花のまちづくり推進事業
事業主体の名称	壬生花の街づくりの会、安塚駅前広場「花愛好会」、花のまちづくり にじの会、チームOW、マミーポットみぶ
代表者の名称	駒場 清子 他4名
事業主体の所在	栃木県下都賀郡壬生町本丸二丁目11-17 他4か所
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:コミュニティの中心となる公共公益空間を緑化し、地域住民に緑化活動の輪を広げる。また、緑化の場を、地域コミュニティ全体に広げ、花と緑があふれた町とする。 ・設立年月日:H24.4.1(壬生花の街づくりの会)H25.4.1(安塚駅前広場「花愛好会」)H26.4.1(花のまちづくり にじの会)H27.4.1(チームOW)H27.4.1(マミーポットみぶ) ・構成員等:緑化活動に意欲的な住民有志
当該事業に係る地域の現状と課題	平成23年度に壬生町が実施した「花のまちづくりボランティア講座」の修了生により花のまちづくりボランティア団体を結成し、「花と緑があふれる町、壬生」を目指し花壇の維持管理を行っている。しかし、団体のメンバーは高齢化が進んでいるため、将来的に花壇を維持できるか、「花と緑があふれる町、壬生」を発展させることができるか不安がある。そのため、いかに若い世代の新メンバーを獲得し、将来的に花壇を管理、発展させていけるかが課題となっている。
事業目的	「花と緑があふれる町、壬生」をつくる 「花と緑があふれる町、壬生」を発展する体制をつくる
事業概要	<p>役場前やみらい館、駅前広場などが集まる場所において、グループ間で連携を取りながら緑化活動を行い、「花と緑があふれる町、壬生」を目指す。また、成人式やクリスマス等のイベントにおいて、花による飾りつけを提供することによって若い世代の関心を引き、併せて町民活動支援センター「みぶりん」のHP等において中学生のボランティアを募集するなどして、後継者の発掘・育成につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壬生花の街づくりの会:町役場・自成館の花卉植替え(4月、8月、11月)、クリスマス飾り・松飾り(12月)、除草・追肥・摘花作業(随時)実施 ・安塚駅前広場「花愛好会」:安塚駅西口広場花卉植替え(6月、11月)、種まき・移植作業(8月)、除草・追肥・作業(随時)実施 ・花のまちづくり にじの会:おもちゃのまち駅東口広場花卉植替え(5月、6月、11月)、除草・追肥・摘花作業(随時)実施 ・チームOW:おもちゃのまち駅西口広場花卉植替え(5月、11月)、除草・追肥・摘花作業(随時)実施 ・マミーポットみぶ:みらい館の花卉植替え(5月、11月)、除草・追肥・摘花作業(随時)実施 <p>【平成30年度】昨年度の反省点等を踏まえ、継続して実施</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:壬生町への新しい人の流れをつくる 戦略プロジェクト:郷土愛の醸成によるUIターン推進 KPI:中学生等地域活動参加人数 400人 ⇒ 500人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	植樹帯等の整備及び維持管理、地域住民への緑化活動の推進	植樹帯等の整備及び維持管理、地域住民への緑化活動の推進	植樹帯等の整備及び維持管理、地域住民への緑化活動の推進		植樹帯等の整備及び維持管理、地域住民への緑化活動の推進
事業費	570,196	1,087,479	1,080,000	2,737,675	1,080,000
市町支出金 (ソフト事業分)	570,000	1,080,000	1,080,000	2,730,000	1,080,000
うち県交付金	285,000	540,000	540,000	1,365,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	196	7,479	0	7,675	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	建設部都市計画課公園緑地係
担当者名	三上 英俊
電話	0282-86-7117
FAX	0282-82-8252
E-mail	toshikei@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町産業交流活性化事業
事業主体の名称	壬生町産業交流活性化事業実行委員会
代表者の名称	壬生町産業交流活性化事業実行委員会 会長 櫻井康雄
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 壬生町内の各種事業者や関係機関が連携を図り、セミナーや交流会を実施することにより地域産業の発展を目指す。</p> <p>・設立年月日: 平成28年11月29日</p> <p>・構成員等: 壬生町、壬生町商工会、栃木地区法人会壬生地区会、JALもつけ、壬生町金融団</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本町は東武鉄道宇都宮線の4つの駅を中心に市街地が形成され、それぞれに商業地域が存在すると共に、4つの工業団地を柱とした製造業等の企業が操業しておりますが、各業種間の交流の機会が不足している現状です。農業でいう“地産地消”の考え方が、商工業分野においても浸透することが望まれており、ここに農業分野を加えた、商工農業種間での原材料や物品の調達、消費が町内で完結できる仕組み作りが課題となっています。</p> <p>このようなことから、町内の産業が競争力を持ち、成長を持続してゆくため、事業者間、他産業との連携を図っていく必要があります。</p>
事業目的	<p>本町の企業等の事業経営に関するスキルアップを図ると共に、ビジネスチャンスの創出を図り、産業の発展につなげることを目的としています。本事業は異業種間の交流・連携を深め、共存共栄体制構築の一助とするものです。</p>
事業概要	<p>実施期日: 平成30年2月9日(金)10:00~13:00 会 場: 壬生町城址公園(壬生中央公民館)研修室及び中ホール 対象者: 町内商工業者、金融機関、農業関係者、医療機関関係者、学校関係者、町議会議員、商工会役員等 事業内容: 以下のとおりです。なお、参加料として、1人1,000円を徴収した。</p> <p>①ビジネスセミナー(講演会)の実施 ・元山形新幹線車内販売員の、茂木久美子氏を講師に迎え、「おもてなしの心を大切に」を演題としセミナーを実施し、84名が聴講した。</p> <p>②交流会の実施 ・上記セミナー終了後、立食形式による交流会を開催した。町内の幅広い業種の方、合計84名が参加し、異業種間での交流を図った。</p> <p>③交流会時に参加事業者による事業紹介と壬生町が新規で取り組む健康づくり支援事業のPRを実施した。</p> <p>④参加企業等のPRコーナー設置 ・交流会場では、参加企業10社による事業PR(展示、パンフレット配布など)を実施した。</p> <p>⑤参加者へ、町において作成した「中小企業向け施策のハンドブック」を配布した。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 壬生町における安定した雇用を創出する 戦略プロジェクト: 産業の振興と雇用の創出 KPI: 産業振興奨励金交付企業数 5社→15社</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ビジネスセミナー ②経営者交流会 ③企業PRコーナー設置	①ビジネスセミナー ②ビジネス交流会 ③企業PRコーナー設置 ④企業の事業紹介プレゼンテーション ⑤中小企業向け施策のハンドブック配布	①ビジネスセミナー ②経営者交流会 ③企業PR		①ビジネスセミナー ②経営者交流会 ③企業PR
事業費	652,000	634,000	700,000	1,986,000	700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	400,000	400,000	400,000	1,200,000	400,000
うち県交付金	200,000	200,000	200,000	600,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	252,000	234,000	300,000	786,000	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 工業係
担当者名	植木 克彦
電話	0282-81-1845
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	健康ふくしまつり開催事業
事業主体の名称	壬生町健康ふくしまつり実行委員会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	〒321-0292 下都賀郡壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:健康増進、福祉に関する普及・啓発活動の展開を通じて町民の意識効用のために事業実施を目的とする ・設立年月日:平成2年 ・構成員等:町長、副町長、町社会福祉協議会長、委員
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の高齢者化が進み、事業参加差も長年参加している団体が多く、来場者も高齢の方が多い。若年層の事業参加や来場者を増やしていくことが必要である。 ・福祉事業に関する団体の参加も多く、福祉に関する意識は高いが、今後は町の健康寿命延伸のためにも町民の健康増進意識の更なる向上を目指す必要がある。
事業目的	町民の健康意識・福祉意識の高揚を図るため
事業概要	<p>○平成29年度取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町医師会による健康に関する講演会の開催 2 町歯科医師会による歯科相談、母子保健推進員による子どもの身体測定やこども向けの屋内遊具 3 健康増進意識向上のための体験コーナー(骨密度測定)や啓発活動の普及(町食生活改善推進員による食事バランスガイドの展示・みそスープ飲み比べ)、エコキャップ回収 4 介護・福祉施設の案内や、介護・福祉用具の展示。地域包括支援センターによる介護・看護相談 5 参加団体による手話・点字・傾聴・車イスの体験コーナー 6 町職員による、年金・行政相談 7 保健事業・福祉事業功労者、よい歯のコンクール入賞者表彰 8 町内中学生有志によるのボランティア参加 9 若年層の参加者を見越すため、○×健康クイズ <p>○平成30年度取組(予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1健康な歯保持者表彰(75歳以上で町内にすむ方を対象に、町歯科医師会と連携し健康な歯を保持している方を表彰する)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:壬生町で安心して元気に暮らす 戦略プロジェクト:健康長寿のまちづくり KPI:健康寿命 男77.92歳 女81.25歳(H22)⇒男81歳 女85歳(H32)【H25年度実績:男78.35歳 女82.47歳】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験	1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験	1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験		1 町医師会による講演会・町歯科医師会による歯科相談 2 町民の健康増進意識向上のための啓発活動 3 福祉活動の体験
事業費	1,790,000	1,800,000	1,800,000	5,390,000	1,800,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,520,000	1,530,000	1,530,000	4,580,000	1,530,000
うち県交付金	760,000	765,000	765,000	2,290,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	270,000	270,000	270,000	810,000	270,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	健康福祉課
担当者名	宇賀神 梨沙
電話	0282-81-1885
FAX	0282-81-1121
E-mail	kenko@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町デスティネーションキャンペーン推進事業
事業主体の名称	壬生町DC実行委員会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: JRの大型誘客キャンペーンに合わせ壬生町の地域資源をPRし本町への誘客拡大を図る。 ・設立年月日: 平成29年3月設立 ・構成員等: 観光協会、商工会、おもちゃ団地協同組合など
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>栃木県において、JRのデスティネーションキャンペーン(通称DC)「本物の出会い栃木」が平成30年4月から6月の期間で決定し、観光振興の機運が高まっております。しかしながら、壬生町には、「歴史」や「文化」「おもちゃ」などの豊富な地域資源があるにも関わらず、十分にPRが出来ていない状況で課題となっております。本キャンペーンを契機に、DCと連携しながら、壬生町の地域資源を全国に発信することが期待されております。</p>
事業目的	<p>DCは、平成29年度をプレDC、平成30年度を本DC、平成31年度をアフターDCと位置付けられており、対象期間内における重点観光PRが重要な鍵となっております。本事業では、壬生町が有する地域資源の情報発信を行い、本町を訪れる人を増やす。</p> <p>本町を訪れた方に対し、「おもてなし」と「壬生でしか得られない思い出づくり」を提供し、再訪を促す。</p>
事業概要	<p>DCは、平成29年度をプレDC、平成30年度を本DC、平成31年度をアフターDCと位置付けられており、対象期間内における重点観光PRが重要な鍵となっていることから、平成29年度及び平成30年度の事業規模が大きな計画となっております。平成30年1月には、473室の大型ビジネスホテルが完成するなど、本町の観光振興の大きな転換期となりました。本事業を実施することにより、既存の観光資源の磨き上げを行い、新たな観光資源を発掘し、観光客の誘客促進を図りました。</p> <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①グーグルマップ連携WEBサイト作成事業 スマホ等に対応したWEBサイトを構築し、情報発信の強化を図りました。 ②休憩所協力認定事業 誰もが借りられる「トイレと休憩の場」を認定、登録し、おもてなし環境を整備しました。 ③観光ガイドパンフレット作成事業 町内のお勧めスポット掲載した観光パンフレットを作成しました。 ④WEB及び観光パンフレットを活用した町歩き等事業 WEB及び観光ガイドパンフレット(30,000部)を活用した町歩きツアーを4月に開催いたします。 <p>【平成30年度】</p> <p>平成29年度の事業成果を活用し、本DCで壬生町への誘客拡大を図ります。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】観光客入込数 3,805,764人(H26)→25%増加(H31) H28実績4,010,852人(5%増加)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①グーグルマップ連携WEBサイト作成事業 ②休憩所協力認定事業 ③観光ガイドパンフレット作成事業 ④WEB及び観光パンフレットを活用した町歩き等事業	①WEBを活用した情報発信事業 ②休憩所協力認定事業 ③WEB及び観光パンフレットを活用した町歩き等事業	①WEBを活用した情報発信事業 ②休憩所協力認定事業 ③WEB及び観光パンフレットを活用した町歩き等事業		①WEBを活用した情報発信事業 ②休憩所協力認定事業 ③WEB及び観光パンフレットを活用した町歩き等事業
事業費	2,000,003	2,000,000	1,000,000	5,000,003	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,000,000	2,000,000	1,000,000	5,000,000	500,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	500,000	2,500,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3	0	0	3	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課商業観光係
担当者名	落合
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生まちなか創生プロジェクト
事業主体の名称	壬生まちなか創生ワーキング
代表者の名称	水井 正行
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 壬生市街地エリアの賑わい創出を目的とする。 ・設立年月日: 平成29年7月7日 ・構成員等: 地元商店主、タクシー事業者、大学、銀行、商工会、メディア、壬生町
当該事業に係る地域の現状と課題	壬生市街地エリアは、壬生藩城下町、日光道中壬生通り、そして、まち医者が多いことから、蘭学のまちとして栄え、壬生町の中心街です。しかしながら、近年、自動車に依存した生活スタイルの変化や郊外の大型商業施設の立地等により、人通りが減少しております。さらには、店舗等経営者の後継者確保に苦慮しており、空き店舗等が増加している状況で、中心街の賑わい創出が課題となっております。
事業目的	壬生まちなか創生ワーキングは、地方創生の「産・官・学・金・労・言」により構成されており、地方創生を現場レベルで推進する組織として、平成28年10月に発足しました。本地域が有する地域資源の発掘や活用、地域で活躍する人材の育成、地域の魅力発信などを行い、壬生市街地の賑わい創出する。
事業概要	<p>壬生まちなか創生ワーキングは、壬生市街地の活性化を図るため、メンバーの意見交換を中心に活動してまいりました。平成29年度からは、規約等を設置し、正式な活動団体として、賑わい創出するための各種アイデアをもとに、事業を展開してまいります。本地区内に埋もれた地域資源を有効に活用し、近隣住民に愛されるイベント、地区を目指し、人と人とのつながりにより、地区の魅力を発信、向上してまいります。初年度は、町内住民への周知を中心にチラシやポスターを40箇所設置し、本地区の賑わい創出を図ります。</p> <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①まちなか周遊スタンプラリー事業 本地区内に点在する歴史的な施設や桜を巡るウォークラリーを3月に準備し、下旬から開催します。 ②観光交流スペースまちなか情報発信強化事業 地区中央部に位置する観光交流スペースにおいて、観光情報(歴史、文化、グルメ等)が発信できる環境整備を行いました。 ③自成館周辺でのミニまちなかPRイベント開催事業 壬生のグルメを中心に地区内の魅力が発信できるイベントを11、1、3月に開催しました。 ④まちなか子ども商店街事業 子ども達が1日店長となるイベント「みぶっ子まちなかストリート」を11月に開催しました。 <p>【平成30年度】</p> <p>平成29年度実施事業を検証しながら、エリア内でのミニイベント等の開催を増やし、活性化に繋がります。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,805,764人(H26)→25%増加(H31) H28実績4,010,852人(5%増加)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①まちなか周遊スタンプラリー事業 ②観光交流スペースまちなか情報発信強化事業 ③自成館周辺でのミニまちなかPRイベント開催事業 ④まちなか子ども商店街事業	①まちなか周遊スタンプラリー事業 ②空きスペースを活用したチャレンジショップ事業 ③自成館周辺でのミニまちなかPRイベント開催事業 ④まちなか子ども商店街事業	①まちなか周遊スタンプラリー事業 ②空きスペースを活用したチャレンジショップ事業 ③自成館周辺でのミニまちなかPRイベント開催事業 ④まちなか子ども商店街事業		①まちなか周遊スタンプラリー事業 ②空きスペースを活用したチャレンジショップ事業 ③自成館周辺でのミニまちなかPRイベント開催事業 ④まちなか子ども商店街事業
事業費	1,000,003	1,000,000	1,000,000	3,000,003	1,000,000
市町支田金(ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支田金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3	0	0	3	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課商業観光係
担当者名	落合 正浩
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	「みぶブランド」インスパイア ～新たな商品価値～
事業主体の名称	みぶブランド推進協議会
代表者の名称	会長 櫻井康雄
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:みぶブランドとして、商品を認定し、町外への町商品のPRを推進する。 ・設立年月日:平成24年2月15日 ・構成員等:民間企業、調理師専門学校、おもちゃ団地協同組合、町
当該事業に係る地域の現状と課題	みぶブランドは、平成26年度の初認定から、これまでに12企業22商品が認定となっております。これまで、認定商品を認定企業からいただいた商品案内等を中心に、商品PRを行ってまいりましたが、町民等の認知度向上に苦慮している状況です。みぶブランドの認知度向上には、認定商品を使った新しい料理などの展開や認定業者相互連携による新たな商品展開が望まれている状況です。
事業目的	本事業では、みぶブランドとして認定された商品のインスパイア(商品に新たな発想を与え)を行い、認定商品の新しい商品価値を高め、購買ニーズの掘り起しと商品PRを行い、みぶブランドの認知度向上と販売促進を図ります。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>①みぶブランド認定審査事業 「壬生町らしさ」をテーマに通年で、商品等を募集し、認定基準に基づいた審査を行い、認定商品の拡大を図りました。 平成28年度まで 12社22品 → 平成29年度 19社35品</p> <p>②認定商品インスパイア事業 現在認定されている商品を使用し、町内の飲食店で町ならではのメニューの開発を行いました。また、農商連携した事業として、新たなみぶブランド商品開発に取り組みました。</p> <p>③認定商品PR事業 認定商品のPRパンフレットやPRグッズなどを作成し、認定事業者と連携した販売促進活動を行いました。 イベント参加回数 14回</p> <p>【平成30年度以降】 平成29年度に実施した事業を検証しながら、事業を推進します。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標:壬生町における安定した雇用を創出する 就業者数 19,461(H22)→現状維持(H31) 戦略プロジェクト1-2 農商工業連携による町の活性化 KPI:地域ブランド品目認定数 10件(H26)→20件(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①みぶブランド認定審査事業 ②認定商品インスパイア事業 ③認定商品PR事業	①みぶブランド認定審査事業 ②認定商品インスパイア事業 ③認定商品PR事業	①みぶブランド認定審査事業 ②認定商品インスパイア事業 ③認定商品PR事業		①みぶブランド認定審査事業 ②認定商品インスパイア事業 ③認定商品PR事業
事業費	500,004	500,000	500,000	1,500,004	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	500,000
うち県交付金	250,000	250,000	250,000	750,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4	0	0	4	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課商業観光係
担当者名	深津菜美
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	「郷土の偉人顕彰作業」
事業主体の名称	「郷土の偉人顕彰作業」実行委員会
代表者の名称	教育長 田村幸一
事業主体の所在	〒321-0225 栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33(壬生町立歴史民俗資料館内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:郷土の偉人を知ることにより、郷土文化の再認識と高揚を図ります。 ・設立年月日:平成29年4月8日 ・構成員等:教育長、壬生論語作成実行委員会他
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>町では、町の歴史と文化を広く周知し郷土に対する誇りと愛着をこれまで以上に強く持ってもらうため、平成4年度から小学校との連携により「郷土の偉人顕彰作業」を開始し、その中で歴史に埋もれていた人物を顕彰しています。</p> <p>しかし、近年発見された人物を広く浸透させることは難しく、今後も引き続き「偉人顕彰」を行うことで、壬生という地域の特色(人づくりは国づくり)を多くの町民に普及・啓蒙する必要があります。</p>
事業目的	「郷土の偉人顕彰作業」を行い、壬生町が“学問の府・壬生”であることを、住民が周知し誇りと愛着を持てるようにします。
事業概要	<p>「郷土の偉人顕彰作業」では、今までに壬生の風土から輩出した二人の芸術家を確認し紹介しました。因みに平成5年度に“漆芸家 人見城民(旧壬生町)”，平成9年度に“染色家 高久空木(旧稲葉村)”の二人の工芸家です。</p> <p>この度確認された人物は、“武関翠心(ぶせき すいしん)”と言い、旧藤井村出身の竹工芸家です。この翠心の人となり、そして作品と技を紹介する展示会を開催し、“学問の府・壬生”と言われた人づくりは、明治以降にも確かな人物を輩出していることを紹介しました。なお、告知については、グラフィック(ポスター・チラシ)を作成し全国の関連博物館・美術館等に掲示・配布して周知を図りました。</p> <p>①企画展の開催 名称:「籠師 武関翠心 -竹の技人-」 会期:平成30年2月10日-3月25日(開催中)</p> <p>②鼎談&ギャラリートーク実施:「竹の技人 “翠心、を語る”」 ・日時:3月4日(日)午後1時30分-4時00分 ・講師:武関翠堂(竹工芸家、日本工芸会正会員)、諸山正則(東京国立近代美術館特任研究員)、鈴木さとみ(栃木県立美術館学芸員) ・コーディネーター:小島宏子(とちぎテレビ) ・参加者:101名</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標2:壬生町への新しいひとの流れをつくる 戦略プロジェクト:郷土愛の醸成によるUターン推進 KPI:観光客入込数 3,805,764人(H26) ⇒ 25%増加(H31) ◇壬生町が誇る多くの自慢について、町民の認知度向上を図り、町民の郷土愛を高め、町民によるまち自慢の情報を促進します。</p> <p>①先人たちの活躍を知ることにより、町民に郷土に対する誇りと郷土愛が生まれます。 ②全国に“学問の府・壬生”を発信することにより、“人づくり”交流の輪を広げます。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①企画展「籠師 武関翠心-竹の技人-」の開催 ②鼎談&ギャラリートークの実施	①企画展「壬生のヒポクラテスたち」の開催 ②シンポジウムの実施	①企画展「江戸の学び・壬生の学び」の開催 ②シンポジウムの実施		①企画展の開催 ②シンポジウムの実施
事業費	2,793,940	2,800,000	2,800,000	8,393,940	2,800,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,793,940	2,800,000	2,800,000	8,393,940	2,800,000
うち県交付金	1,126,970	1,130,000	740,000	2,996,970	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0		

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	歴史民俗資料館学芸係
担当者名	中野正人
電話	0282-82-8544
FAX	同上
E-mail	rekimin@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町スポーツクライミング普及促進事業
事業主体の名称	壬生町総合型地域スポーツクラブ ゆうがおスポーツクラブ
代表者の名称	会長 相田 喜久夫
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3828番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:誰もがスポーツに親しむことが出来る生涯スポーツ社会を実現する ・設立年月日:平成23年2月 ・構成員等:町スポーツ推進委員、町体育協会部員、会員 等
当該事業に係る地域の現状と課題	当町においては、主に働く世代のスポーツ離れ等により、スポーツ施設については働く世代の利用が減少傾向にある。また、地域の中においてもスポーツ活動が減少していることから、運動不足による健康への影響や、小・中学生においては、基礎体力(主に握力)の低下等が課題となっている。
事業目的	東京オリンピックにおいて追加競技となり、特に若者を中心に注目度が高く、幅広い年代の方が楽しむことが出来るスポーツである「スポーツクライミング」(ボルダリング)を核として、体験イベントや競技大会の開催、関連イベント等を実施することにより、町民の健康増進や子どもの基礎体力の向上、スポーツ活動を通じた町民交流の活性化等を図ることを目的として事業を実施する。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スポーツクライミング設備完成式典 ②県内有名選手によるクライミングショーの実施 ③クライミング体験教室 <p>【平成30年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スポーツクライミング講習会 ②小・中学生クライミング体験教室 ③クライミング競技会 ④働く世代へのクライミング体験教室
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標4:壬生町で安心して元気に暮らす 戦略プロジェクト:4-3健康長寿のまちづくり KPI:クライミング体験者数 H27:0人 → H31:1,000人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①スポーツクライミング設備完成式典 ②県内有名選手によるクライミングショーの実施 ③クライミング体験教室	①スポーツクライミング講習会 ②小・中学生クライミング体験教室 ③クライミング競技会 ④働く世代のクライミング体験教室	①スポーツクライミング講習会 ②小・中学生クライミング体験教室 ③クライミング競技会 ④働く世代のクライミング体験教室		①スポーツクライミング講習会 ②小・中学生クライミング体験教室 ③クライミング競技会 ④働く世代のクライミング体験教室
事業費	548,988	2,400,000	2,400,000	5,348,988	2,400,000
市町支出金(ソフト事業分)	548,988	2,400,000	2,400,000	5,348,988	2,400,000
うち県交付金	274,494	1,200,000	1,200,000	2,674,494	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	スポーツ振興課
担当者名	菊地 政一
電話	0282-82-2345
FAX	0282-81-2706
E-mail	sports@town.mibu.tochigi.jp